

腫瘍 分子イメージング

2011/2/21 (月) 17:30～18:30

大阪大学医学部 講義棟 2階 C 講堂

香川大学医学部 放射線科

山本 由佳 先生

PET を用いた腫瘍イメージングとして、腫瘍の糖代謝を可視化する F-18FDG が最もポピュラーですが、山本由佳先生は、チミジンキナーゼの活性をイメージングする F-18FLT やアミノ酸代謝をイメージングする C-11 メチオニンなど、最先端の腫瘍マーカーを用いた腫瘍分子イメージングを臨床に応用されています。

略歴

平成 5 年 3 月 香川医科大学医学部医学科 卒業

平成 13 年 7 月 香川医科大学（現：香川大学医学部）放射線科 助教

平成 17 年 2 月 デューク大学 核医学科 研究員

平成 18 年 2 月 香川大学医学部 放射線科 助教

平成 19 年 2 月 香川大学医学部 放射線科 講師

主 催：PET 分子イメージングセンター

連絡先：大阪大学医学系研究科核医学講座 (06-6879-3461)

hatazawa@tracer.med.osaka-u.ac.jp

<http://www.tracer.med.osaka-u.ac.jp/index-jp.htm>